

Ⅲ 品種

17、18 世紀に数品種の種子がアジアからヨーロッパに運ばれたが、種子繁殖のため多くは雑種化していると考えられている。ルバーブは他家受精であり、容易に他の株と交雑するので、種子を入手しても親株と同じ特性を示すかどうか不明。一般に種子繁殖は短期間で大量に栽培するときや、品種改良の手段として行う。従って、根株を入手できない場合は実生苗を育て、その中から葉柄が太く、赤みが強い株を選んで育て、優良な数株から自家採種するのがよい。ジャムに加工したときに、赤色が強い品種は製品も赤いため、色彩から赤い品種が好まれる。しかし、一般に赤系品種は草勢が弱く、温暖地では経年栽培が困難である。

また、60 程度の品種があるとされているが、それらの品種のルーツが明らかでないことが多く、また異なる名前でも似たような特性をもつこともある。品種名は生産者または育種者が市場性を高めるためや好みで命名される。もちろん、現在、利用されている品種には消費者が好む葉柄が赤い品種や草勢が旺盛などの品種がある。軟化栽培（後述）には、赤色の薄い品種でも暗黒下では鮮やかな色になるため、草勢の強い（根株が早く肥大する）品種で対応するのがよい。

ルバーブは本来、根株を増殖して栽培するが、国内での根株の入手は困難である。外国から導入するには検疫を受けることになるが、検疫経費など多大な出費を伴う。従って、種子を国内種苗会社から購入、またはアメリカ合衆国、欧州などから通販で購入する。国内では「ビクトリア」の販売が多い。一部の品種は大手の種苗会社でも扱っているが、輸入種子の多い藤田種子（株）（www.fujitaseed.co.jp）などで入手できる。

消費者が好む葉柄が赤い品種や草勢が旺盛などの品種があり、葉柄の赤い着色程度で分類される（表1）。

軟化栽培には、赤色の薄い品種でも暗黒下では鮮やかな桃色になるため、草勢の強い（根株が早く肥大する）品種で対応する。

表1 品種のタイプと品種例

タイプ	代表品種	類似品種	特 徴
赤系	クリムゾン Crimson	クリムゾンチェリー Crimson Cherry	草高は90～120cmと高く葉柄は太い、鮮やかな赤色。寒冷地の湿潤地が適する。
		クリムゾンレッド Crimson Red	
		クリムゾンワイン Crimson Wine	
	バレンタイン Valentine		葉柄は長く厚い。加工後も桃赤色が残る。種子茎はほとんど発生しない。
	カナダレッド Canada Red		草高90～120cm、葉柄が長く、細く、内部も鮮紅色。種子茎は少ない。草勢が強く耐寒性がある。
	チェリーレッド Cherry Red	チェリー Cherry アーリーチェリー Early Cherry	草高は90cm程度、葉柄が長く、厚く、内部とも濃赤色。ジューシーで食味がよい。寒冷地に適する。
コロラドレッド Colorad Red	ハーディターティ Hardy Tarty	草高60～90cm、葉柄は細く、初夏から晩夏まで収穫可能。シュウ酸が多いとされる。伝統的な品種。	
	グラスキンズパーペチュアル Glaskin's Perpetual		草高は60cm程度で、鮮やかな赤色、ジューシーで収穫期後半でもシュウ酸が少なく、品質はよい。播種後1年で収穫可能。軟化栽培にも向く。
ピンク系	ビクトリア Victoria		草高90cm程度、成育旺盛、葉柄基部ほど赤色が濃く、上部は薄緑。繊維質が少なく、ジューシーで生産性が高い。花茎数は多い。軟化栽培にも向く、伝統的な品種。
		ストロベリー Strawberry	葉柄の内部もピンク。種子茎は多い。軟化栽培に向く。
		ジャーマンワイン German Wine	草高は60cm程度なので、コンテナ栽培ができる。成育旺盛、葉柄に暗ピンク色
	マクドナルド MacDonald		葉柄は長く、立性で成育旺盛。萎凋と根腐れに強い。花茎は中～大。
	サンライズ Sunrise		草高は90cm程度、葉柄は長く、厚く、色は緑が多く、生育旺盛で収量が多い。耐寒性があり、軟化栽培にも向く。
	サットン Sutton	サットンズシードレス Sutton's Seedless	葉柄は長く、立性で生育旺盛。萎凋と根腐れに強い。花茎は中～大。
	プリンスアルバート Prince Albert		草高90～120cm、ジューシー。伝統的な品種。軟化栽培にも向く。
	ティンバリーアーリー Timperly Early		草高は90cm、葉柄は60cm程度で長く、内部は緑白色。耐病性があり、早期収量を望める。軟化栽培にも向く。
	カンガルー Kangarhu		草高90cm程度、温暖地でも生育し、晩夏まで収穫できる。
	緑系	リバーサイドジャイアント Riverside Giant	
ターキッシュ Turkish			葉柄は45cm程度。表皮、内部は緑。

注) 品種特性等は、「The Rhubarb Compendium.(<https://www.rhubarbinfo.com/>)」等から作成。

赤系：クリムゾン（Crimson）にはクリムゾンチェリー（Crimson Cherry）、クリムゾンレッド（Crimson Red）、クリムゾンワイン（Crimson Wine）がある。クリムズンは通常の温度・湿度下で鮮やかな赤が特徴的。他に成長の優れる品種に、バレンタイン（Valentine）、カナダレッド（Canada Red）、チェリーレッド（Cherry Red）等があり、チェリーレッドはカルフォルニアで栽培され、長く、厚く、濃赤色の葉柄となる。



図1 クリムゾンチェリー（Crimson Cherry）
(<https://www.gardeningknowhow.com>)



図2 カナダレッド(Canada Red)
(<https://highaltituderhubarb.com>)



図3 コロラドレッド(Colorad Red)
(<https://highaltituderhubarb.com>)



図4 グラスキンズパーペチュアル
(Glaskin's Perpetual) (<https://www.gurneys.com>)

ピンク系（小斑点の赤）：ビクトリア（Victoria）は大きく、卓越した品質で、長くなめらかな葉柄で、緑の葉柄上に表面いっぱいにピンクの小斑点を示す。このピンクは葉柄基部でより濃い。上にいくほど一様に緑となる。ビクトリアは通常、軟化栽培に用いられ、ストロベリー（Strawberry）はビクトリアに近く、同様な品種と考えられる。ジャーマンワイン（German Wine）はビクトリアに似ているが、より旺盛で色はより強く、緑の葉柄上に暗ピンクの斑点を示す。マグドナルド（MacDonald）はもう一方のピンク系で、成長はよい。



図5 ビクトリア(Victoria) (原図)



図6 ジャーマンワイン (German Wine)

(<https://www.ttseeds.com>)



図7 マグドナル(MacDonald)

(<https://lareault.com>)



図8 サンライズ (Sunrise)

(<https://www.gardenknowhow.com>)

緑系：リバーサイドジャイアント (Riverside Giant) は大型で太く、長い緑の葉柄で、耐寒性のある生育旺盛な品種。ターキッシュ (Turkish) は表皮、内部も緑である。



図9 リバーサイドジャイアント (Riverside Giant)
(<https://www.gardenknowhow.com>)



図10 ターキッシュ (Turkish)
(<https://highaltituderhubarb.com>)